

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

香川県 宇多津町

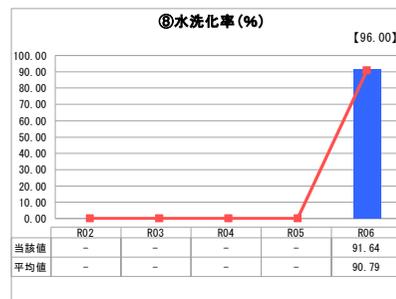
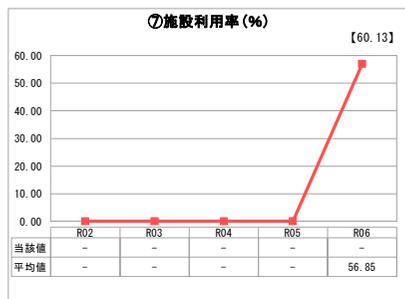
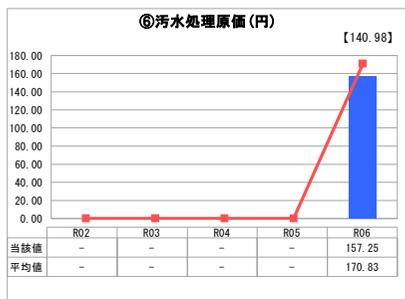
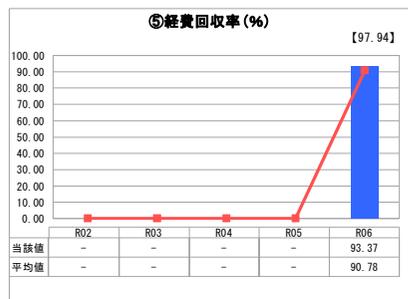
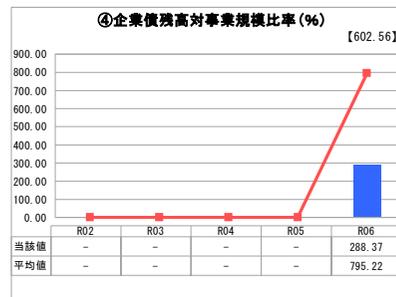
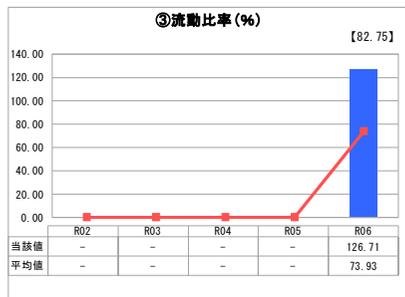
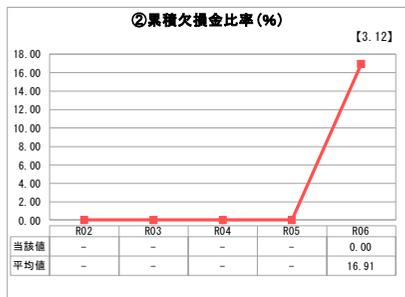
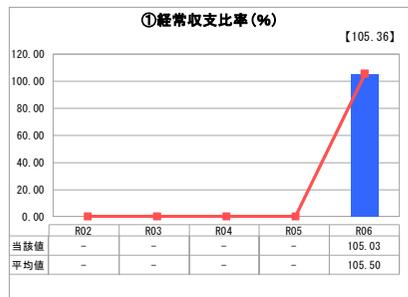
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円)
-	71.13	87.38	94.35	2,475

人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
18,305	8.10	2,259.88
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
15,921	4.08	3,902.21

**グラフ凡例**

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

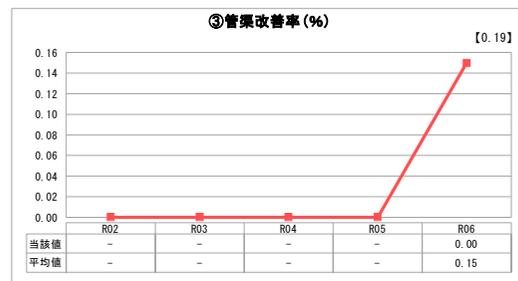
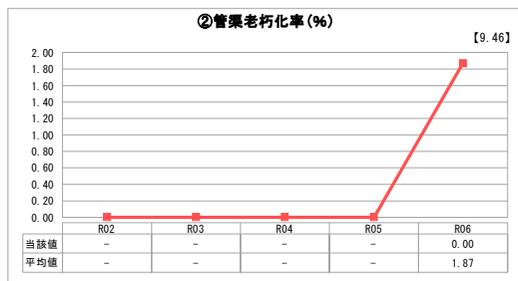
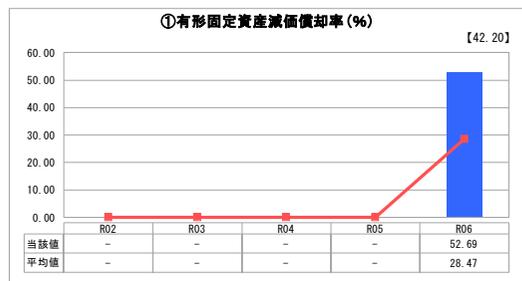
令和6年度から地方公営企業法を一部適用したため、法適用以前数値はない。

収益的収支比率（全体収支が黒字であれば100%以上）については100%を上回っている。経費回収率（汚水経費が使用料で賄えていれば100%以上）については100%を下回っているが、類似団体平均値は上回っており100%に近づけられるよう取り組む。汚水処理原価（有収水量1m<sup>3</sup>あたりの汚水処理費用）は類似団体よりも低く、汚水処理については比較的効率よく運営できているといえる。

### 2. 老朽化の状況について

企業債残高対事業規模比率（使用料に対する企業債残高の割合）は類似団体よりかなり低い水準である。また、有形固定資産減価償却率についても類似団体に比べ老朽化が進んでいるといえるが、今後施設の大規模な更新工事を予定しており、必要な投資が先送りになっているわけではない。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

現在は累積欠損はなく、法適用初年度として順調に事業運営できたが、財源において一般会計からの繰入金占める割合が高く、依存している状況は法適用以前から変わっていない。

汚水処理施設は概成しており、今後は接続活動を進め水洗化率を少しでも上昇させる必要がある。

老朽化による維持管理費の増加・更新に費用を要することが予想され事業運営はますます厳しくなっていくが経営戦略を改定するなどにより公営企業としての経営を適切に分析し、事業運営の方針を検討していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。